

A LDKの目の前には雑木林、その向こうには小川が流れる。四季の移ろいが見せる色や音や匂いに、心潤う北側の借景。 **B** ウッドデッキはたっぷりスペースを確保して、ピザ窯やブランコを設置した。DIYに薪割りに、都合がいい。 **C** 窓が切りとる信州らしい風景と薪ストーブのある暮らしがよく似合う。 **D** 建物を道路のある南側いっぱいに寄せ、北側を広くとった敷地計画。なんとも贅沢なプライベートスペースのこの庭で、子どもたちは車通りを気にすることなく駆け回ることができる。

ラの床のダークな色調、光の巡らせ方の妙が、心憎いまでに空間の質を高めています。

そして、キッチン天井のルーバー、ダイニングテーブルとその照明、土間サロンの上がり框、丸柱などに取り入れた曲線デザインは、この空間で時間を共にする家族やゲストの心に湧く歓びが、あちこちで波紋をつくっているようです。

ゲストを招いて食事をすることが多いため広くつくったLDKは、吹き抜けや外の眺めの取り入れ方の巧さも手伝い、一層広がりを感じます。さらに、ヤマザク

切った敷地計画です。

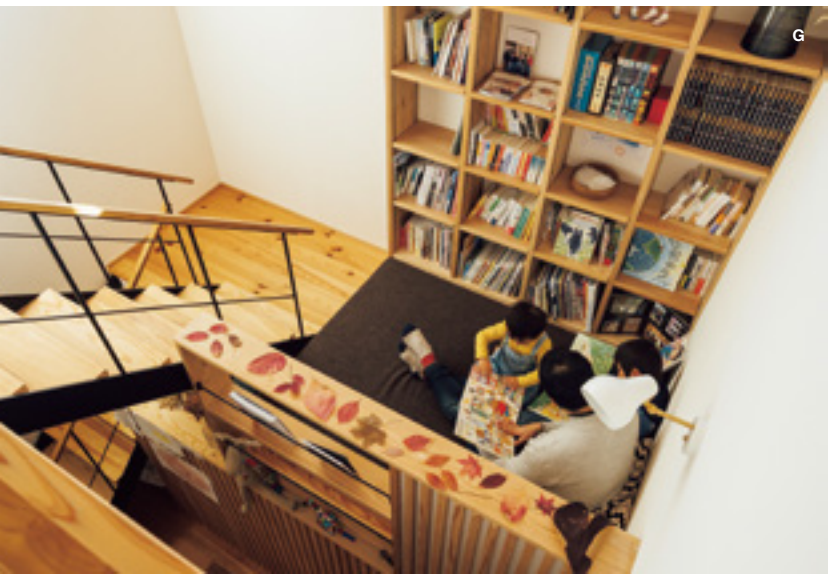
自然が織りなす四季の表情を味わうためです。林の手前の庭では子どもが車通りを気にせず遊べ、ピザ窯やブランコを据えたデッキでは、薪割りもDIYも自在にできます。土地の魅力を読み切った敷地計画です。

F邸は道路に面した敷地の南側に建物を寄せ、北側にたっぷり余白を取りました。木々が萌え出る初夏、黄やオレンジに色づく秋、その葉を落とし林の向こうに浅間山が覗く冬――。自然が織りなす四季の表情を味わうためです。林の手前の庭では子どもが車通りを気にせず遊べ、ピザ窯やブランコを据えたデッキでは、薪割りもDIYも自在にできます。土地の魅力を読み切った敷地計画です。

家にいながらにして
自然が織りなす
四季の表情を楽しむ

そして、日々是好日

A



E_LDKの床材はヤマザクラ。手前の土間サロンの上がり框にはカーブをつけた。家族も、この家に招待されたゲストも、ついここに腰掛けて薪ストーブの火の揺らぎを眺めたいくなるという。キッチン天井のルーバー、ダイニングテーブルとその照明などにも曲線のデザインを取り入れている。 **F**_スケルトン階段も空間の広がり演出している。ブックラウンジの下には家族が「かくれが」と呼んでいるスペースがある。 **G**_階段の踊り場に設けたブックラウンジ。クッションを置いて居心地のいい空間にした。棚の上の紅葉は、子どもたちが拾い集めてきたもの。ここに暮らすようになって植物の名前にも詳しくなった。 **H**_吹き抜けからの日差しと木のぬくもりに癒されるLDK。

にとって本当に大切な人とのつながりがわかりましたし、この場所での新たなコミュニティも育ち始めています」
東京でしかできないことは、毎日はいらない豊かさかもしれない。それよりも、野外保育を全力で楽しんで帰宅した子どもの笑顔、旬の野菜や果物の味、勇壮な山々の眺め、夕陽の美しさ、林の向こうに流れるせせらぎや落ち葉を踏む音、森の匂い、ドングリが雨のように降る様子に豊かさを感じます。
日日は好日。かつて非日常に感じていたものが今、家族の暮らしを潤しています。

一家は3年前に東京から移住しました。子どもを屋外で思い切り遊ばせてあげたい。友人知人を気兼ねなく呼んで食事を楽しみたい。家族の心の拠り所となる居場所がほしい。そんな思いからまずは賃貸住宅に住まい、戸建て物件を探したものの、納得のいく物件に出合えませんでした。
あるとき不動産事業者から紹介されたのが工房信州でした。家づくりへの思い、木の使い方、土間や薪ストーブを取り入れた暮らしなどが胸に響き、中古住宅を買うのではなく、家を建てることにしたのです。
「非日常を日常に」。Fさんは工房信州の担当者にそう伝えました。東京暮らしでは、旅先や特別な機会でしか味わえなかったことを毎日の中へ取り入れたい。子どもが自然の中で伸び伸び育つことも、親しい人と呼びの食事、四季の移ろいを身近に感じることも――。
東京から離れたら知人と疎遠になるのではと心配しましたが、気心の知れた人は物理的な距離をいわず訪ねてくれます。「ここに家を建てたことで、自分たち

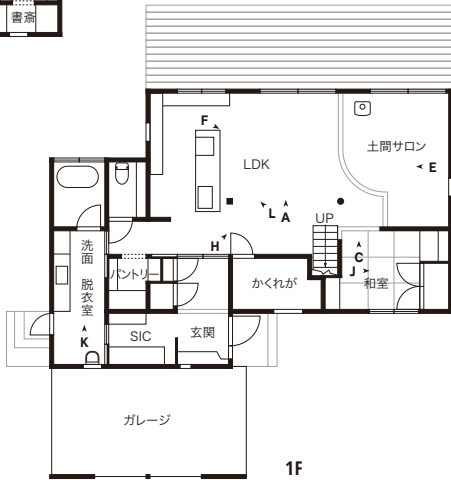
旅先などで味わう
非日常の豊かさを
毎日の暮らしの中へ

A man is seated in a wooden chair, facing away from the camera towards a bright window. He is wearing a light-colored long-sleeved shirt and dark trousers. The room he is in is brightly lit, contrasting with the dark, shadowed space from which the photo is taken. The doorway frames the man and the window.

The floor plan illustrates the layout of the second floor. It features two children's rooms (子供部屋) on the left side, connected by a central loft area (ロフト) with stairs going up (UP) and down (DN). Adjacent to the loft is a large bedroom (寝室) with a view of the garden. The right side of the plan includes a bathroom (バスルーム), a toilet (トイレ), and a study area (読書スペース). Various furniture items such as beds, desks, and wardrobes are indicated throughout the space.

敷地面積	907.63m ²	(274.01坪)
延床面積	160.85m ²	(48.56坪)
1F面積	99.58m ²	(30.06坪)
2F面積	61.27m ²	(18.50坪)

工法／木造在来軸組工法 基礎／ベタ基礎 構造材／柱：スギ／ヒノキ、梁：スギ・アカマツ（太鼓梁）、土台：ヒノキ 断熱材／天井・壁：ボード状発泡プラスチック系 断熱材押出法ポリスチレンフォーム100mm、基礎：ボード状発泡プラスチック系断熱材押出法ポリスチレンフォーム50mm 主な外装仕上げ／屋根：ガルバリウム鋼板、外装：ジョリパット塗装、一部スチール張り 主な内装仕上げ／天井・壁：珪藻土入石膏板張り 一部板張り、床：無垢材（ヤマザクラ・カラマツ） 開口部／Low-E複層三層ガラス（アルゴンガス入り） キッチン／オーダーキッチン熱源／IHクッキングヒーター パスルーム／TOTO ハーフユニット 暖房の種類／薪ストーブ



Owner: Fさんご家族

Q1_ 家づくりで一番大切にされたことは？

- A** 家族やゲストと豊かな時間を分かち合うこと。

Q2_ こうしておいてよかった、と思ったことは？

- A** LDKの広がりあるつながり、語らいながら料理できるキッチン、土間サロン、ブックラウンジ、北側借景など。

Q3_ このビルダーさんに頼んでよかったことは？

- A** 信州の風土を深く理解した上で、信州での暮らし方についてアドバイスしてくれること。

Builder: 担当／柄沢忠祐さん

Q1_この家のコンセプト、ポイントは？

- A 「集う」家。

Q2_ この家の見どころを3つに絞るなら。

- A** ゲストと囲むオープンキッチン。随所に取り入れた曲線デザイン。自然豊かな北側に向けて開放された間取り。

Q3_ 家づくりで一番大切にしていることは？

- A** その場所でお客様が実現したい人生を応援すること。家づくりは1つの手段です。

